allcinema

子供たちの王様（1987）

孩子王
KING OF THE CHILDREN

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 中国
色彩 Color
時間 106分
初公開日 1989/04/29
公開情報 東光徳間＝ヘラルド・エース提供／ヘラルド・エース＝日本ヘラルド

【解説】

中国映画の録音は近年、日本の技術者たちの助力も得て、飛躍的向上を見せている。これも音に拘ったユニークな一編だが、スタッフは全て国内で調達。陳監督は相変わらず水墨画の構図のようなロング中心の絵作りだが、不思議とこの作品の身近なテーマと溶け合い、嫌味ない素晴らしい効果を上げている。

極貧の農村地帯に飛ばされて７年。中学を出ている“やせっぽち”とあだ名される主人公は、更に奥地の村の分校の国語教師となる。それが文革しばらくの党の政策だったのだが、分校には教師用の教科書すら満足になく、それもひどく教条的な内容。指導方針としては、黒板にこれを書き写したのを更に生徒がノートを取るだけで、彼は、今まで習った字は全部記憶している利発な少年・王福の意見を聞き入れ、もっと自分なりの授業を模索する。作文で己や身の回りの人について語ること、それすら体験してこなかった生徒たちを自己表現の喜びに目覚めさす“やせっぽち”。彼らは黙々と鉛筆を走らせ、教室にはその音だけが響く。ときおり自分の所属していた労働隊を訪れる“やせっぽち”は、飯炊きで楽譜が読めるという来妹のたっての望みを聞き入れ、彼女所有の辞書と交換に、作曲のための詩を提供してやる（やがてその歌は分校の愛唱歌となる）。王福は辞書を賭け、明日起こることを今日中に作文に書く、という挑戦を持ちかけるが、明日すべき竹の採集を父と二人で片付けて、それをその日のうちに作文にしてしまう。意味の取り違えだが、努力を評して辞書を与えると、彼はその全ページを書き写すから良いという。やがて、“やせっぽち”は異動したが、教室の彼の机に、もう人の文を写すな、と白墨で伝言を残すのだった。霧に包まれたような村。物の怪が出そうで刀を持ってそこへやって来た主人公は、ある夕焼けの日、峠で見た牛飼いの少年も幻覚だったことに、帰り際気づくのだった。詩的で象徴性に満ちたイメージで文革の過ちを指摘する、秀逸な作品である。

【クレジット】

監督	チェン・カイコー	Chen Kaige
製作	マオ・ユイウェン	
原作	アー・チョン	Ah Cheng
脚本	チェン・カイコー	Chen Kaige
	マン・チー	
撮影	クー・チャンウェイ	Gu Chang-Wei
音楽	チュイ・シャオソン	Qu Xiao-Song
出演	シェ・ユアン	Xie Yuan
	ヤン・シュエウェン	Yang Xue-Wen
	チャン・ツァイメン	Zhang Cai-Mei
	ラー・カン	La Gang
	陳昭華	Chen Shao-Hua

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.